

## 関東甲信 景観さんぽ～景観写真を集めました in 国営公園～の取組み

建政部計画管理課 安山 桃子

### 1. 建政部としての取組み

建政部では、各自治体による景観まちづくりの推進のため、管内各都県及び各市区町村担当者に向けた景観法や補助金、交付金などの説明会「景観セミナー」を都県ごとに開催したり、景観行政団体への移行、景観計画の策定の推進に向け、課題等をお伺いしながら、情報提供などを行っているところです。

これまでの取組みを通して、それぞれの地域で、景観計画等の枠組み以外に、一般の方に景観に対する興味を持っていただくための取組として、景観百選の選定や、フォトコンテスト、清掃活動、景観まちづくりの勉強会など様々な活動を行っていることがわかりました。

今般、建政部として、こうした自治体の取組をさらに盛り上げる事が出来ないかと考え、各地域が誇る景観について、より多くの方々に認識していただくとともに、関東甲信地域における景観まちづくりの充実を図ることを目的とし、関東甲信1都8県の市区町村のフォトコンテスト入賞作品等を管内国営公園に一堂に集め、写真展を開催することとしました。

都県にも協力いただき、各自治体に協力をお願いしたところ、133市区町村がこの写真展に参加してくれることになりました。

### 2. 写真展開催に向けて

写真展をどこで開催するか課内で検討した結果、日程を調整出来、開催中の管理をお願いしやすい直轄の国営公園5箇所を会場とする事としました。また、133自治体からの写真提供については、各自治体最大3枚分のデータを送付いただき、1枚をフォト光沢紙で印刷し、フォトフレームに入れて展示、残りの2枚については、デジタルサイネージでスライドショー展示する事としました。

写真展のタイトル「景観さんぽ～景観写真を集めました in 国営公園～」については、計画管理課全員でタイトル案を出し合い、話し合っ、最終的には投票で決定しました。このタイトルには、写真を見ただけで「さんぽ」した気分になる、写真に写る景色を実際に「さんぽ」したくなる、そんな思いが込められています。

予算のない中で、展示する写真や、会場の設営、撤去作業については、計画管理課の職員と、各公園事務所の職員の方々に手伝っていただき、準備を進めました。

### 3. 写真展に対する反応

来場者アンケートでは、

- ・自分の住んでいる街にも関心を持った。
- ・南アルプス市の棚田の写真、棚田の石積み  
の修復事業の取組み等関係者の努力により  
美しい景観が保全されている事がわかった。
- ・地域の伝統行事、継承してほしい。
- ・出身地の写真が見られてうれしかった。
- ・この風景のまま長く残してほしい。
- ・SNSを利用して随時国内外に発信して  
ほしい

といった意見が寄せられました。

ほとんどの方から、景観について改めて  
考える

きっかけになった、写真の場所に実際に行  
ってみたいとなった、と回答いただきました。

関東甲信  
景観さんぽ  
～景観写真を集めました in国営公園～

私たちの身近にある美しい景観には、自然の中で形成されたものもあれば、人々の生活や生業の中で生まれ、市民や企業、行政等の多くの方々の取組により保全・再生されているものがあります。今年、関東甲信1都3県の市区町村のフォトコンテスト入賞作品などを国営公園に集め、写真展を開催します。思わず行ってみたくなる景色や、身近なまちの再発見に繋がる美しい景観写真が多数集まりました！みなさまのご来場をお待ちしています。

【主催】国土交通省関東地方整備局 建設部

【協力】  
宮城県 岩手県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県 長野県

第1会場 (東京都)	6月28日(金)～7月21日(日)
第2会場 (長野県)	7月25日(木)～8月18日(日)
第3会場 (東京都)	8月23日(金)～9月16日(月)
第4会場 (長野県)	9月20日(金)～10月14日(月)
第5会場 (愛知県)	11月8日(金)～12月1日(日)

チラシは参加自治体にも配布していただきました。

### 4. まとめ

写真展を通じて、私たちの身近にある美しい景観には、自然の中で形成されたものもあれば、人々の生活や生業の中で生まれ、市民や企業、行政等の多くの方々の取組により保全・再生されているものがある、という事を改めて考える事が出来ました。

来場者アンケートの結果も好評でしたので、この取組は継続していくことになりました。今年度は、県からも展示場所の協力をいただき、県庁展望台スペースなどでも写真展を開催する予定です。また、参加自治体も昨年度より増加しており、初年度より充実した写真展となりそうです。



東京臨海広域防災公園本部棟での展示状況

写真の下には、撮影場所、フォトコンテストの名前と、コメントを記載したメモを貼付しました。

今年度は、写真にまつわる情報をQRコードなどにして、

興味を持っていただいた方に、より多くの情報に、簡単に

アクセス出来るようにしたいと思っています。